

東京庄原格致会会報

第29号

2021年9月

発行人・八谷英樹
編集人・武廣巖
印刷所・(株)クロスアーク
コミュニケーションズ

令和3年度定例総会・懇親会は中止します。

令和3年度定例総会・懇親会の開催に向けて準備をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大が止まらないことから、会員の皆様の安全に配慮し、同総会・懇親会は開催しないこととしました。昨年に引き続いての中止となり大変残念です。

令和2年度会計報告及び令和3年度事業計画については、12ページをご覧ください。

(事務局)

コロナを乗り越えて

来年の総会でお会いできるのを楽しみに!!



東京庄原格致会会長
八谷 英樹
(昭和三十五年卒)

会員の皆様におかれてはコロナ

の感染拡大の中、如何お過ごしでしょうか? 元氣にお過ごしであることを願っております。

会員の皆様には東京庄原格致会に何時も暖かい御支援をいただきありがとうございます。

誠に残念なことです。今年十月に予定しておりました定例総会並びに懇親会を中止することの報告からご挨拶を始めなければならぬこと、非常に悲しく思っております。

今年の総会では私をはじめとする役員が二年間の任期満了を迎えますので、新役員の議案の審議をお願いし新体制がスタートする予定でございました。しかし総会中止という事態になりましたので、緊急避難措置として現役員体制でもう一年、会の運営にあたらせていただくことを役員会で決めさせていただきました。ご理解をいただきます引き続き宜しくご支援いただきますことをお願い申し上げます。この一年半余、コロナの感染拡大のため会の活動はままならず、

昨年の総会も中止、各同好会の活動も中止に追い込まれました。そういう中で情報発信に重要な役目を担うホームページのセキュリティを高めるためにURLを変更しました(改定作業の関係で一時期ホームページの閲覧ができない時期がありました)をお詫びします。

今はワクチン接種の広がりで一日も早く平常の生活に戻れることを願っております。

コロナ社会の中で世の中の生活はテレワークとかりモート学習等と大きく変化をしております。政府が力を入れているデジタル改革がどのような展開をしていくのか? 必要性は感じながらもスマホも十分に使いこなせない自分を顧みる時その変化について行けるのか一抹の不安も感じております。

ワクチン接種が行き渡りコロナとの共生生活が始まった時の懸念もあります。政府はコロナ対策に巨額のお金を投じましたがそのために国は既に抱えていた巨額な借金(国債)を更に増やしました。その回収策がどのような姿で現れて来るのか! 介護保険料の引き上げも待ったなしです。年金生活

者にとっては厳しい生活になりそうです。高福祉を求めると高負担、中福祉・中負担を求めるとは私たちの選択です。とかく、低負担で高福祉を求める風潮があるのには懸念を感じております。

少子高齢化で人口の減少が続くのは必至です。世の中は変わらざるを得ないでしょうが、それに立ち向かう私たちの生きざま・覚悟が求められています。

少子高齢化の波には東京庄原格致会も直撃を受けております。平成十八年版の会員名簿に搭載されていた会員は六六六人でしたが、昨年の会報発送時には四九四人と大幅に減少しております。この会員の減少には交流する庄原実業高校東京支部、世羅高校東京校友会も頭を悩ませています。

最後になりましたが、昨年の会報で寄付のお願いをしましたがところ、多くの方から浄財をいただきました。厚く御礼申し上げます。会の活動資金として大切に使用させていただきます。

来年、三年ぶりの総会で皆様とお会いできることを楽しみにしております。健康にご留意いただき元氣にお過ごしください。

困難な時だからこそ前進します



広島県立
庄原格致高等学校
校長 青本 眞二

母校格致高校2年目を迎えます。校長の青本でございます。令和3年度もそれぞれの生徒が自分の力を伸ばし、将来活躍できるような職員一同頑張っております。で、同窓生の皆様もどうかご支援お願い申し上げます。全国的にも新型コロナウイルスの感染拡大はなかなか収まりそうにない状況です。東京庄原格致会の皆様も感染に十分気を付けていただきたいと思います。

さて、広島県内でも感染拡大により、コロナ前の状況には戻るのは難しくなっております。カープが三連覇して、多くの県民がマツダスタジアムで密集して、大声を出して、そして大いに飲んで歓声を上げていたのははるか昔のことのように思えます。しかし、このような状況の中でも本校の医療・教職コースは、今年で完成年度を迎え、コース第1期生が卒業の年

となります。なんとか、医療教職分野で活躍できる人材を様々な制限の中でも創意工夫をすることで乗り切ろうと努力しているところです。

今年から第1学年生徒から一人一台のノートパソコンを持参するようになったこともその取組の一つです。現在のような情報が重要な社会では、様々な情報にアクセスできる人が有利であり、コンピュータやタブレットを自由に扱う力は基礎的な能力の一つに考えられるからです。庄原市のように広島などの地方の中心都市から離れた地域はなおさら必要だと判断し導入することになりました。

庄原は自然豊かで面積は広い割に人口が少ないため、感染リスクは少ないのと言ってもありませんし、道路も庄原市内は通勤・通学時間でも渋滞することはありません。かといって必要なものがないわけではなく、生活必需品は近隣のスーパーで購入できる。あとは切磋琢磨したり、いろんな個性や能力を持った人にどのように出会ったりするかが重要だと考えています。そのため、まず格致生には実際に他の場所に向いて対外試合をする経験や、インターネッ

ト回線を用いての他地区や他県、他国の生徒と対話する経験を積極的に持たせる取組を進めたいと思っております。

そして将来、格致高校から世界を股にかけて活躍する人材が育ってくれたり、地元庄原・三次など県北地域を国内でも有数の住みやすい町に発展させてくれる人材が育ってくれることを楽しみに、この難局にあっても立ち止まらず前へ前へ進みたいと思っております。どうかご支援ご協力お願い申し上げます。

ふる里庄原の近況



広島県立
庄原格致高等学校
同窓会会長
藤光 有
(昭和四十年卒)

東京庄原格致会の皆様には、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

日頃は同窓会活動に対しましてはご支援ご協力を頂いておりますこと、心から感謝し厚くお礼申し上げます。

東京庄原格致会 ホームページURL 変更のお知らせ !!

ホームページのセキュリティを高めるために、
東京庄原格致会のURLを変更しましたのでお知らせします。

東京庄原格致会のURLを登録されている方は、変更していただきますようお願いします。

旧URL <http://t-shobara-kakuchi.com>

Sを追加

-(ハイフン)がなくなりました

新URL <https://t-shobarakakuchi.com>

また、ホームページをより充実したものにするために、会員の皆様からの情報・投稿をお待ちしています。

さて、庄原では田植えが終わり
 苗も一段と大きく成長していま
 す。今年はことのほか早い梅雨入
 りで、うっとうしい日々が続いて
 いますが、雨が多いこともあり野
 山は萌えいずる新緑で美しい田園
 風景を目にすることができま

す。4月7日(水)、母校庄原格
 致高校で入学式があり、新たに
 107名の後輩が入学しました。
 新型コロナウイルス感染防止対策
 のため、関係者以外は私も含め一
 切の出席が認められませんでした
 ので、その様子を皆様にお知らせ
 できないのが残念です。皆様も青
 春という方程式を解くため、その
 未知数に「格致」という値を選ん
 だ日のことを思い出してください。

また、4月には市長選挙と市議
 会議員の選挙があり、庄原市長は
 木山耕三氏が激戦の末、三選を果
 たされました。一方、市議会議員
 は定数20人に対し23人が立候補し
 特に目立ったのは女性候補の得票
 数が伸び、4人の方が当選されま
 した。新しい市の魅力づくりに期
 待したいと思えます。

庄原でも新型コロナウイルス禍
 の勢いが止まりません。
 緊急事態宣言下の広島県にあつ

て、庄原市では5月末現在延べ86
 人、その内5月1日から31日まで
 の感染者数は73人と大変厳しい現
 状であります。一般行政施設は6
 月1日から6月20日まで149施
 設が利用中止となっております。
 簡単に回復が望めないこの感染
 症です。

現状を十分承知して対応し、ワ
 クチンの接種に望みをかけるしか
 ないのであれば、今は接種を速や
 かに完了させる「有事」の態勢が
 必要と考えます。新型コロナウイルス
 閑散としていますが、明るい話題
 もあります。

5月26日庄原市は日本郵政株式
 会社から打診を受けている「庄原
 さくら温泉かんぽの郷庄原」につ
 いて、取得を目指す方針を明らか
 にしました。実現すれば庄原市の
 観光・宿泊・催し物会場として旗
 艦施設の役割を果たす大切な財産
 です。ぜひ前向きに検討してい
 だきたいものだと考えます。

以上、庄原市の半年を振り返り
 ました。

終わりになりますが、緊急事態
 宣言下、大変厳しく、また暑い季
 節を迎えます。東京庄原格致会の
 益々のご隆盛と皆様方には充分お

体に気を付けられ、頑張つて頂け
 ますことを祈念し、ご挨拶としま
 す。(令和3年6月1日記)



第28号に続いて、今年12月に
 90歳になられる室伏孝一さん
 の回想(後半)です。



室伏 孝一
 (昭和二十五年卒)

父が宮内大臣の紹介で、宮内省
 の勤務から、松坂屋に転職しま
 した。松坂屋は名古屋が本店で、
 1911年(慶長16年)織田信長
 の家臣の一人伊藤蘭丸が武士は二
 君に参見ず(まみえず)として商
 人になり尾張名古屋に呉服店とし
 て創業した老舗です。幼稚園は途
 中入園がならず、翌年昭和13年に
 名古屋市昭和区吹上小学校に入学

し昭和16年に太平洋戦争に突入し
 ました。当時は祝日と祭日があり、
 祝日の四大節(正月元旦節、紀元
 節、天長節、明治節)祭日の春季
 皇霊祭、秋季皇霊祭、神嘗祭、新
 嘗祭には天皇陛下の御真影を飾り
 校門の脇に皇霊殿があり、そこに
 奉置してある教育勅語を教頭先生
 が校長先生に引き渡し、生徒は頭
 を垂れ、勅語を拝聴する儀式があ
 り、式後に紅白のお菓子を頂き厳
 粛な気持ちで帰宅しました。これ
 も戦後マッカーサーからの指令で
 廃止されましたので、戦後生まれ
 の方はもちろん戦後の入学生徒も
 ご存じありません。教育勅語は小
 学生は皆、暗記したものです。小
 学6年生では米軍の空襲がまだ激
 烈ではなかったのか、名古屋から
 伊勢神宮への参拝旅行がありました
 た。昭和19年に中学に入学し夏休
 みから学徒勤労動員に駆り出さ
 れ名古屋市内から中央線の鳥居
 松(現在の春日井駅)まで列車通
 勤で軍需工場に通いました。1年
 生で学校で勉強したのは1学期の
 みで足にゲートルを巻き、鉄兜を
 背負い米機来襲の警報に怯えなが
 ら、銃の製造工場に通いました。
 中学生・女学校の生徒は皆、軍事
 工場乃至は勤労奉仕に駆り出され

たものです。名古屋周辺は航空機の製造工場や兵器、被服の工場が密集しており昭和20年は沖繩に米軍が上陸し、本土も連日のように米機の空襲に遭遇しました。米機の来襲に日本の戦闘機が迎え撃ちながら見る間に追い打ちされ高射砲も夜間のサーチライトも米機に届かず為すがままの状態を観てこの上米軍が本土に上陸すれば竹槍では到底かなわないと心の中では思いましたが、口には出せませんでした。打ちてしまんの号令に手出しは出来先ず、悔しさが心に浸みました。昭和20年の3月には姉と二人で母の出生地の広島に祖母を頼りに満員列車に乗り込んで空襲警報の発令ごとに停車を余儀なくさせられ呉線経由で広島駅で芸備線に乗り換え山ノ内に名古屋から2日ばかりで到着しました。呉線では海寄りのシャッタードアを閉められ燈火も消して列車は真暗で死に物狂いでした。

格致中学に転校届はどのようなして手続をしたか定かな記憶はよみがえりませんが、やっとの思いで教科書を開くことが出来ませんでした。農家の手伝いの勤労奉仕をしましたが、都会からの疎開者として、戦争から逃げ出してきたと罵

声を浴びせられたり、いじめにもあいました。戦況は報道管制で正しく伝わらず、ラジオが頼りでしたが各家には無く近所の家に聞きに行くような状態でした。8月6日の広島原爆も化学兵器による空襲で市内には草も生えない状態であるとうわさでしか知りえませんでした。被爆から2・3日して芸備線で、看護士さんが付き添って原爆負傷者が運ばれ小学校の講堂に収容されましたが山ノ内の駅に、リアカーや雨戸の戸板に筵をひいて負傷者を乗せて運んだことを思い出します。付き添いの看護士さんに聞くと恐ろしい爆弾の投下であったと聞き及びました。母は小学校の講堂に収容された負傷者の手当ての応援に駆り出されて今日も何人かの方が亡くなり火葬をしたと悲しげでした。それに加えて長崎にも原爆が投下され、8月15日に重大ニュースが流れるとうわさがあり、正午に隣の家のラジオの前に集まり雑音の中に天皇陛下からの玉音放送が流れ、日本は無条件降伏をしたことを聞き何とも言えない雰囲気になりました。一面ではやっとなつたかの悔しい一念もありました。と同

時にこれから先どの様な展開になるのか不安も走りました。

8月15日を過ぎて1週間後に三次女子高等学校4年生の姉が学年全体で広島市内の原爆による負傷者の看護手伝いに駆り出され約1週間過ごしてきました。地獄を見たようだと帰宅して話を聞かされました。間接被爆で被爆手帳を交付されました。その姉は兄弟の中で一番の仲良しでしたが山ノ内で縁があり結婚し私達兄弟の面倒を見てくれましたが20年前に他界しました。終戦当時は疎開者は窮乏生活を余儀なくさせられ、今の時代とは考えられぬほどの厳しい時代で母の苦労は並大抵の物ではありませんでした。学生服買うことの出来ぬほどで、外地から復員をしてきた人の軍服を母が改造したものを着て通学をしたものです。靴も配給でもらい受けた軍靴を利用していました。疎開をしてきた下級生の中には裸足で列車通学しているのも見かけました。それほどの窮乏生活でした。

父は昭和17年に、国の施策の中で百貨店勤務の男性は戦地の兵站部の任務を命ぜられてシンガポールへ赴任し、終戦時はマレーシアにて収容され昭和22年の春、引き

上げ船で漸く岩国に上陸して帰国後は、再度名古屋松坂屋に復職しました。

中学3年生になり少しは落ち着いて授業が受けられるようになりまし。先生も都会から疎開してこられた方も多く、学業に身が入るようになり、課外活動も三次中学のグラウンドで県北の中学の陸上競技大会に応援に行くための校歌・応援歌を全生徒が習得しました。

「来たか、来てみたか格致の競技、よいよい」などは忘れもしません。同級生には県の国体選手になるものも多く輩出し県北でも格致中学は優秀校で三次中学と優勝争いをしていました。4年生になる昭和23年には学制改革があり、新制中学と高校に分かれ中学5年で高校2年に編成されました。私は中学2年生の3学期から卓球を始め、卓球部を創設し中学4年の春秋の県北大会では優勝し、高校2年の県北大会は団体は連勝を続け個人戦を勝ち上がり、県北高校の第1回の単・複のチャンピオンを獲得しました。ダブルスのパートナーは戸谷拓二君で、団体戦のメンバーは同級生の末長君と1級下の坂下君でした。高校3年生に

なる4月校名が格致高校から比婆西高校に変わりました。

父が南方から帰国して名古屋松坂屋勤務から東京に転勤になり、私も3年生になる4月に都立文京高校に転校しました。私と同様に疎開をしてきた旧友の中、何人かが転校して行きました。

昭和24年の秋の国体が東京で開催され。比婆西高校から国利長治君・六谷君が陸上の広島県代表として出場し上京して来たので競技場への応援と競技終了の後の都内見物のお世話をしたことも思い出の一つです。又都内の大学進学の旧友との交流も務め東京庄原格致会への入会にも繋がりました。私達の格致中学からの同級生は、「小田会」と称して毎年クラス会を開催し旧交を温めております。年々参加者が少なくなっているのは寂しいことではありますが幹事のお世話で続いていることは素晴らしいと思います。年齢90まで続くか楽しみでもあります。

東京庄原格致会の会報への一言を寄稿するに当たり筆を走らせました。

闘病生活顛末記



田辺 実
(昭和四十年卒)

格致会の皆様、ご無沙汰しております。新型コロナウイルス感染拡大の話題で持ち切りの毎日ですが、皆様にはお元気で活躍のこととお慶び致します。

小生こと現在、糖尿病と戦う毎日を送っております。高齢者になれば、身体の各部位に色々な病症が現れてきます。闘病生活の始まりは40代中ごろからで、定期健康診断で生活習慣病の高血圧、糖尿、たんぱく尿が出始めました。医師にかかり、薬事療法を続け、定年退職後、精密検査をしたところ、腎不全が限界近くまで進行していて、ついに週3回の血液透析に入りました。血液透析は体内の血液内の老廃物を濾過し除去するもので、1日4時間かかり、前後の準備、後処理に時間がとられるため、ほぼ1日ばかり制約を受けます。日常生活はもとより、旅行、

出張も日帰りになるなどの制約を受け、行動範囲も狭まります。

生活習慣病には高血圧、肥満病、高脂血症、糖尿病などがあり、特に重要なものは、慢性腎臓病です。塩分の過剰摂取、運動不足、睡眠不足などの悪い生活習慣が続く中で、高血圧が発し、腎臓を含め全身の血管に動脈硬化を起し、腎臓の糸球体へ送る細動脈にも圧力がかかり、血管内で細胞増殖によつて血管内空が狭くなり、腎臓への血流が悪化し腎障害が起ります。悪い食習慣の中で高血糖の状態が続くと、全身の毛細血管レベルでの代謝障害が起り、毛細血管が次第に劣化し、腎臓にも機能低下が起り、高血圧や糖尿病をさらに悪化させます。腎機能が低下しても自覚症状はなく、症状の顔や手足のむくみ、全身のだるさ・疲労感、全身のかゆみ、食欲不振、下痢、目の充血、息苦しさ、貧血、乏尿、排尿異常、腰の鈍い痛みなど出たときは病状がかなり進行して慢性的に徐々に悪化して、腎機能は回復不可能になります。

腎臓病は大別して急性腎臓病と慢性腎臓病があり、急に発症する急性腎臓病には、急性糸球体腎

炎、急性腎盂炎、急性尿細管壊死、急性間質性腎炎、微妙変化型ネフローゼ症候群などがあり入院治療で治します。慢性腎臓病(CKD)には、慢性糸球体腎盂炎、慢性間質性腎炎、腎硬化症、多発性嚢胞腎、慢性腎盂炎、糖尿病性腎症など、慢性的に持続する腎臓病のすべてが入ります。根治的に治らないものが多く薬物療法、食事療法などにより進行を抑えなければなりません。これらは、医師や、栄養士の指導を受けて行わなければなりません。

食事療法は、病気の種類や進行具合によつてことなりますが共通しているのは、塩分の制限、たんぱく質の制限、適切なエネルギーの摂取の3つです。食事療法は正しい食習慣になれば難しくはありませんが、最初はしっかりと知識を得るのが必要です。専門の医師や栄養管理士の指導を受けたり、食品成分表などを見ながら食材や食品に対する知識を深めましょう。調理の際は計量スプーンや計量カップを使い食事の記録をつけましょう。高血圧は腎臓に負担がかかり、糸球体の毛細血管を痛めます。血圧の一番の原因は塩分の取り過ぎです。1日6gに抑

えるようにしてください。塩分をできるだけ少なくして、胡椒、酢、めんつゆ、レモンなどの使用をお勧めします。いずれにしても早い段階で治療に取り組めば治療できます。今になって健康の大事さを痛感致しました。少しでも腎臓病の兆候があるときは、早めに専門の医師にかかって治療することをお勧めします。

腎臓病についての詳細は左記文献をご参照ください。

参考文献

- 1 富野康日己、腎臓病の正しい知識と最新治療、日東書院、2014
- 2 根来秀行、腎臓病にならない最強の法則、主婦の友社、2019
- 3 上月正博、腎臓病は運動で良くなる、マキノ出版、2019
- 4 寺林陽介、内野勝行、疲れをとりたきや腎臓をもみなさい、アスコム、2016
- 5 黒川清監修、中尾俊之、小沢尚、酒井謙、腎臓病食品交換表 第9版治療食の基準、医療薬出版、2016

西城川 昨今



桑原 草子
(昭和四十年卒)

格致高校の正門を出て右に道を通り掛田へ向って坂を下ると、下り切ったところは西城川の左岸である。そこに架かる明神瀬橋を渡ると川の右岸には国道四三二号が走っている。この国道は南は広島県竹原市から北は島根県松江市まで通じる道で、総領町から庄原市に入り、庄原の町中を抜けて車橋で西城川を渡り、川北、比和、高野町を経て島根県奥出雲町に入る。高校生の私はこの道を高野町と庄原を結んで走る備北バスで川北から掛田まで三年間通った。

下校時、掛田で川北行に乗車するとバスは門出別(もんでわかれ)まで暫し西城川の右岸を流れに沿って走る。門出別で川は大きく西へ曲がり、国道四三二号は西城川の岸を離れてそのまま北へ向かう。ここでバスは川に別れを告げるのだが、別れる前に、門出別

れから西方に開ける西城川の眺めが美しい。大きく湾曲して流れる川、周りに広がる草叢や田圃、それを囲む低い山々、遙かな西空：尤も高校生の私は、この眺めの美しさをはっきり意識していたわけではない。西南の空から注ぐ明るい陽射しや、晩秋の川辺に光る薄の穂波に見とれることはあっても、その時の私の頭の中はただ自分の事で一杯で、目の前の川について上は上の空であったと思う。

門出別から西へ流れ行く西城川の景観の美しさに目覚めたのは、故郷を離れて三十年も経た頃、久しぶりに帰省した私に、菩提寺の御住職がたまたま、この眺めは「庄原百景」の一つに数えられていると教えて下さった時である。さもありなん、あれは確かに百景の一つにふさわしい！と覚醒した。爾来、折ある毎に門出別から西方を眺めてはその景色を愛でていた私は、数年前この景色の中に或る異変を認めた。目の届く限り西の果てまで流れて行った西城川が、今しも空に遭い空に溶けこもうかという処、右岸の山の斜面の高みにギラギラ光る大きな銀色の四角形が出現！太陽光パネルらしい。今の私は、この異物が増殖せぬよう

にと祈るばかりである。

甲子園に響く美爆音と共に

熊田 和佳
(平成五年卒)

2021年、世界中が未だにコロナ禍で大変な現在より、数年前に遡った2019年3月、私と妻は阪神甲子園球場のスタンドにいました。

第91回春の選抜高校野球、一回戦 千葉県代表の習志野高校 vs 宮崎県代表の日章学園の観戦です。地元の習志野高校野球部を応援しに来たのですが、私たち夫婦の本当の目的は、その野球部を応援する吹奏楽部だったのです。

当時、吹奏楽部1年生の娘を



追っかけ、甲子園球場まで来てしまったのでした。野球部ではなく、それを応援する吹奏楽部を応援？と多くの方は疑問に思われることでしょう。

習志野高校吹奏楽部は、部員総数200名を超え、吹奏楽の頂点でもある全国吹奏楽コンクールでも何度も金賞を受賞する強豪校ですが、なによりも有名なのが、「美爆音」と呼ばれる野球応援です。その応援が始まると会場の椅子がビリビリと振動するほどの爆音なのに不思議と耳に心地よい美音の二つを併せ持つことでそう呼ばれています。

娘もその美爆音に魅せられて、習志野高校吹奏楽部に入部したものの、野球のルールを全く知らないため、最初のうちは、打者は打つたらどっちに向かって走るの？とか、逆転ホームランで負けて帰宅後に、サヨナラって何なの(怒)？と、聞いている私たち夫婦は大爆笑、自然とそんな野球の試合を、娘がどうやって応援しているのか純粹に観たくなり、自然と球場に訪れるようになっていたのです。

さて、一回戦の日章学園戦が始まりました。甲子園球場内に響き渡る美爆音を背に、習志野高校は

相手の失策もあり、序盤で主導権を握り8-2でそのまま勝利しました。二回戦では優勝候補の筆頭で、エース奥川君(現ヤクルト所属)を擁する星稜高校をも飲み込み勝利、その勢いそのままに決勝まで駒を進め、惜しくも敗れはしましたが準優勝を飾ることが出来ました。

甲子園という舞台では、眩しいほどの若さとパワーを感じる事が出来て、その機会を与えてくれた娘には感謝の気持ちでいっぱいです。

私も部活に勉強に熱い気持ちを持って過ごしていた庄原格致高校時代を懐かしく想い、これからの人生をエンジョイしたいと思います。

最後に、カープをご縁に同窓会にお誘い頂いた田中文男様と、この会報への執筆の機会を頂きました事務局
長の武廣
巖様に心
から感謝
申し上げます。
ありがとうございます。
ありがとうございました。



左端が熊田さんの娘さん

母校だより

母校の現状

庄原格致高校 教頭
橋本 敦盛

東京同窓会の会員の皆様には、日頃より本校教育活動、また在校生に対し多大なるご支援をいただきまして大変ありがとうございます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため4月13日から5月31日まで臨時休校となりその間、ICT等を活用して授業課題を発信したり生徒からの質問を受けたりしました。6月より授業を再開しましたが、受験・就職のスケジュールが当初予定から変更されるなか3年生にとっては、大変な年になったと思います。

このような状況の中でも、生徒・教職員の頑張り、地域・保護者の支援により、一年を過ごすことができました。

明治30年に小田源吉先生が庄原の若い世代に教育の場を提供することを目的として作られたこの庄原格致高校が、未だに建学の精神を失うことなく、県北の人材育成

の中心的な役割を果たしていることを改めて感じた年になりました。

今年度は、新コースの「医療・教職コース」が1年から3年までそろいました。従来の普通科3クラスのうち1クラスを「医療・教職コース」とし、医師・看護師をはじめとする医療従事者や小学校、中学校などの教員を目指す生徒を育成するコースです。近年本校に入学してくる生徒の傾向として、将来は地元で地域に貢献したい、そのために医療や教育現場で働きたいという希望を持った者が多くいます。その一方で庄原を含む県北では、地元出身の医療従事者や教育者が減少しています。新しいコースの設置に伴い広島大学や県立広島大学、庄原市教育委員会、庄原赤十字病院などのご協力もいただけることとなり、地域に貢献できる人材を輩出すべく努力していきます。また、従来の普通科についても、今まで以上に力をそそぎ地域の担い手となるよう取組を進めていきます。

さらに、来年度から学習指導要領が改定されることから庄原格致高校にふさわしい教育内容を想像し、新しい教育課程を検討中です。

現在、本校では運動部10、文化部6、同好会2の合計18のクラブが日々精力的に活動を行っています。昨年度は、県総合体育大会やインターハイ、文化部の多くの大会が中止されましたが、今年度は多くの部が感染症対策を徹底するなか頑張っています。5月の時点で延べ362名の生徒が入部しており、全校生徒のほぼ全員がいずれかのクラブに所属しています。その中でも全国大会の常連として活躍をしているのが、写真部です。令和2年7月31日から開催された第44回全国高等学校総合文化祭「2020こうち総文」に、広島県代表として3名の作品が出品されました。うち2名の作品が、奨励賞を受賞しました。

このように、本校は124年培ってきた伝統と新しい理念とを兼ね備えた学校づくりに頑張っているところです。生徒が勉強にクラブ活動に自律的に取り組むことのできる学校を目指したいと考えています。

同窓生の皆様のさらなるご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和2年度進路決定状況

国公立大学	18名	(15%)
私立大学	57名	(49%)
短大	11名	(10%)
専門学校	22名	(19%)
就職	5名	(4%)
その他	3名	(3%)

(事務局注：橋本教頭先生は、今年4月に着任されました。)



新入生ウエルカムコンサート (4/16)



入学式での初めてのHR (4/7)

JR備後庄原駅「大正レトロ」な駅舎に改修

藤原 剛
(昭和四十三年卒)

令和2年10月JR備後庄原駅がリニューアルオープンした。大正12年に建てられた旧駅舎は、庄原市が庄原駅周辺の区画整理事業に合わせて改修工事を進めていたもので、「大正ロマン漂う」イメージを生かした改修を行い駅



新入生歓迎遠足 (4/30) 備北丘陵公園



食彩館しょうばら
ゆめさくら



庄原のお土産は、
「庄原の食」を一堂に集めた特産店で！
お食事・仕出しは、お食事処 花ほぼろで !!

〒727-0004 広島県庄原市新庄町 291 - 1
TEL 0824-75-4411 FAX 0824-75-4422

〈指定管理者〉株式会社 グリーンウインズさとやま
代表取締役 奥井 智裕 (昭和57年卒)

武蔵野技研株式会社

チーフマネージャー
中田 毅

昭和39年卒

埼玉県狭山市下奥富 797-5

TEL.FAX. 0429-53-9240

舎内には多目的スペースや会議室を備えました。

市民が気軽に集える交通交流施設として、にぎわいある街づくりの一環として改修されました。

庄原駅周辺の区画整理事業は駅前広場において、公共交通の乗り継ぎ、待ち合などがスムーズに行えるように、バスセンターやタクシー乗り場等、市の玄関口として、交通結節機能の強化を図り、隣接する幹線道路も整備して駅周辺の土地利用の促進を目的として、総工費約18億円で平成22年4月から着工していました。

道路整備等を含めた全体の完成は令和5年度末をめざしていきます。

備北交通の本社屋内ではパンやコーヒーも販売しており、駅舎の多目的スペースでは各種団体の展示会や会議室では「敦盛さん」の三味線の練習にも利用させてもらっております。

最終的には緑豊かな公園や幅広い道路で、ゆとりあるイメージと安全性の向上が図られるとされています。

帰郷の節には是非、駅舎及びその周辺の生まれ変わった姿をお楽しみください。



庄原駅 新駅舎構内



庄原駅 旧駅舎



庄原駅 新駅舎



【囲碁同好会】

平成十二年十二月に発足した囲碁同好会は毎月一回の例会を開き研鑽を続けてきていましたが新型コロナウイルスの勢いに阻まれ、止む無く令和二年は一月、二月、十一月と三回のみの開催になり、三年も休会が続いております。

囲碁同好会は年間(二十三年度までは上・下半期毎)の成績優秀者を賞していますが、現在の会員十三人のうちで、最優秀賞としてトロフィーを獲得した方を紹介します。(敬称略)

四回受賞者は

合田良三八級

(二十三年卒・現、同好会会長)

坂部賢治五段

(五十二年卒、メンバーの中で

の最年少者・一番の実力者)



庄原さくら温泉

かんぽの郷 庄原

〒727-0004 広島県庄原市新庄町281-1

TEL.0824-73-1800 FAX.0824-73-0100

<委託運営会社> 株式会社サンヒルズ庄原

社長 阿部 隆弘 (昭和53年卒)

どんな小さな工事・修理でも、お気軽にご相談ください

ガーデン & エクステリア

0120-454295 お気軽にどうぞ



株式会社 八王子装建

代表取締役 西谷 光徳 (昭和46年卒)

諸官庁工事指定店 10年保証 お見積り無料 迅速対応
八王子市子安町1-32-19

TEL: 0426 (45) 4295 FAX: 0426 (44) 8549

URL : <http://www.h-soken.com/> E-mail : nisitani@h-soken.com

二回受賞者は
松田尚徳四級(県人会員・
二十七年卒相当)

宮原幸徳三級(二十九年卒)

桑原貞行二段(三十五年卒)

岩竹康良六級(日彰館)

三十六年卒)

加藤雅男三級(広島電機

三十七年卒)

瀬尾明雄六級(四十年卒)

*段・級は日本囲碁連盟の基準に
準拠して同好会で格付けしていま
す。

対局は段・級に応じて各人に付
与されているポイントに基づいて
差で置石をおいて行い、対局ごと
に勝者にはプラス三ポイント、敗
者はマイナス三ポイントが加減算
されるため、上位者といえども油
断はできません。

囲碁同好会は(コロナが落ち着
けば)毎月第二日曜日を定例日と
して、新宿の囲碁サロン・喜楽で
研鑽を続けています。棋力に関わ
らず興味のある方は

事務局・八谷までご連絡ください
(090-1105-7272)。

初心者、大歓迎です。

「囲碁サロン 喜楽」の住所等は
新宿区新宿3-21-7
東新ビル7階

(☎03-3334-4545)

JR新宿駅東口から10分弱の場所
にあります。

(昭和35年卒 八谷英樹)

【ゴルフ同好会】

コロナ禍のGOLF分科会

★活動休止中

今朝(3月28日)の新聞報
道ではコロナ感染者は国内で
46万7041人に達しています。
何時になったら安全安心な生活に
戻れるのでしょうか?

東京庄原格致会ゴルフ同好会の
皆様も、次回開催を待ち望んでお
られることでしょうか。この会も、
2016年(平成28年)から、日
彰館高等学校(馬洗会)、西城会
を含め「三会合同」の「拡大コン
ペ」へと発展しました。これまで
第7回大会まで開催しましたが、
2019年(令和元年10月)を最
後に中断しております。

★足腰の鍛錬

ゴルフは、技術もさること乍ら
気力体力、取り分け足腰の強靱さ

が要求されます。江戸時代には、
通信手段として「飛脚」制度が有
りました。江戸初期に大阪商人が
始めたもので、大別して、①三度
飛脚 ②月に三度定期的に出る。彼
らは、東海道を日本橋〜京の三条
まで125里を6日間で走るのが
決まりでした。②早飛脚 ③これを
頼むと値段は高かったが同じコー
スを3日間弱でほとんど走りっぱ
なしで有った。「飛脚問屋」が江
戸に9軒、京に18軒、大阪に18軒
有り、後の郵便事業の先駆けとな
り、やがて制度化されたと云われ
ています。ほかに③幕府、大名の
専用飛脚も有ったらしいです。

★先輩の偉業

翻って、我が母校「比婆西高等
学校」の先輩「田中茂樹」氏(1931
年生まれは、1951年(昭和26年)
日本人初参加の「ボストンマラソ
ン」に19歳で初優勝されました。
当時の記録としては驚異的な2時
間27分45秒で世界のマラソン界に
一大旋風を巻き起こしました。

母校として誠に名誉なこと、
永く後世にその偉業を語り継ぎた
いものです。

★継続は力也

このように、江戸時代の「飛脚」
と云い、先輩「田中茂樹」氏の偉

創業42年



二階堂調剤薬局 グループ

まへの薬局本店 二階堂調剤薬局
まへの薬局北口店 大山調剤薬局
まへの薬局南口店

代表取締役 薬剤師

石井 美佐子

(旧姓 瀧口) (昭和48年卒)

東京都板橋区南常盤台 1-30-21

TEL 03-3958-9955

業と云い、一朝一夕に出来上がる肉体構造で無いことは想像に難くありません。いずれにしましても日々、血の出るような並外れた精神力と鍛錬の賜でしょう。

私達も、今コロナ禍に閉ざされた中、気力体力維持と、運動機能向上に工夫を凝らさなければなりません。体は正直なもので工夫を怠れば足腰は間違い無くすぐに退化して行くでしょう。会員諸兄！次回のゴルフコンペを目標に日々足腰の鍛錬に励もうでは有りませんか。

【追記】新規御加入希望者は、「東京庄原格致会事務局」又は世話役 亀井（090-5826-5670）まで連絡をお待ちしています。

（昭和三十五年卒 亀井勲三）

【バス旅行同好会】

バス旅行の思い出

2002年に「東京庄原格致会でもバス旅行に行こう」と兼利卓蔵さん（28年卒）と森沢進さん（33年卒）が中心になり、親睦バス旅行同好会が発足しました。

2002年9月号の会報に参加

者募集が掲載され、翌年3月9日（日）に東京駅の丸ビル横から25名がバスに乗って、伊豆修善寺温泉と十国峠の旅に出発したのです。車内では平田耕司会長（20年卒）の発案で俳句大会が行われ、名句優秀作品2点が選ばれました。

バス旅行は、現在まで15回行われています。印象に残っているのは「茨城の笠間焼で皿を造ったこと」「乗り合いバスで行った那須塩原温泉の「泊旅行」「マイカーにて現地集合の熱海の伊東園ホテル」「伊豆特急踊り子号で行った湯河原温泉」などです。笠間焼には2回行っており、最初は2006年4月23日室伏孝一顧問（25年卒）の紹介で「大津晃窯」で田中ご夫婦の指導で作品づくりで没頭しました。

2011年からは幹事が渡邊千草さん（38年卒）と助政千尋さん（40年卒）になっております。

また2017年からは、東京・西城会と合同で親睦を図っており、昨年9月7日（土）は新宿駅西口工学院大学横から西武バスにて41名乗車し、長瀬のライン下りの船に乗り、秩父神社に参拝をしました。

昨年と今年は新型コロナウイルス感染拡大でやむなく中止となっ

ておりますが、早く再開できることを願っております。健康長寿の3本の柱は「食事・運動・社会参加」と言われております。旅行会再開の折には是非ご参加をお願いいたします。

東京庄原格致会 バス旅行一覧表

回数	年月日	行先	参加者	幹事	備考
	2002年9月号に掲載	会員募集について		兼利・森沢	
1	2003・3・9(日)	伊豆修善寺温泉・十国峠	25名	〃	俳句大会あり
2	2004・3・14(日)	日光・鬼怒川温泉	19名	〃	〃
3	2005・4・17(日)	小淵沢・諏訪方面	21名	〃	
4	2006・4・23(日)	笠間焼・袋田の滝	19名	〃	
5	2007・4・1(日)	鹿島神宮・犬吠崎灯台	16名	〃	
6	2008・4・27(日)	西伊豆・土肥温泉	20名	〃	
7	2009・8・2(日)	身延山久遠寺・4湖周遊	17名	〃	雨降り、遅れて出発
8	2010・6・20(日)	笠間焼と茨城空港	17名	〃	
9	2011・9・30(金)～10・1(土)	那須塩原温泉一泊旅行	15名	助政・渡邊	乗合バスで一泊旅行
10	2012・5・26(土)	水上温泉と谷川岳ロープウェイ	20名	〃	
11	2013・9・26(木)	熱海の伊東園と来宮神社	8名	〃	マイカーにて集合
12	2014・5・16(土)	湯河原温泉・万葉公園	10名	〃	特急伊豆踊り子号乗車
13	2017・9・9(土)	房総館山と貝焼き食べ放題	39名	〃	東京・西城会と合同始まる
14	2018・9・8(土)	沼津御用邸公園・柿田川湧水	35名	〃	
15	2019・9・7(土)	長瀬ライン下りと秩父神社	41名	〃	

デザイン・印刷・ノベルティで企業イメージをUPさせる販促品をご提案いたします。



株式会社
クレスコアースコミュニケーションズ
〒101-0041
東京都千代田区神田須田町 2-2-5 CTNビル 7F
TEL.03-5207-5189
www.cresco-ars.co.jp

（昭和四十年卒 花田和教）



令和2年度東京庄原格致会会計報告

(自令和2年7月1日~至令和3年6月30日)

一般会計収支報告書

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度からの繰越金	70,079	会報作成費・発送費	251,533
年会費	204,000	幹事会経費	6,780
広告収入	70,000	HP関係経費	33,110
寄付	97,000	当座管理費(会費等振込手数料)	18,007
受取利息(一般)	0	通信費等事務費	13,564
		次期繰越金	118,085
合計	441,079	合計	441,079

基金会計収支報告書

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度からの繰越金	94,115	次期繰越金	233,115
寄付	139,000		
受取利息(基金)	0		
合計	233,115	合計	233,115

財産目録(令和3年6月30日現在)

(一般勘定)	
郵便局 振込口座 (年会費振込口座)	36,415円
〃 一般口座 (一般口座)	81,670円
合計	118,085円
(基金勘定)	
郵便局口座	233,115円
合計	233,115円
総合計	351,200円

左記のとおり報告致します。
 令和3年7月11日
 東京庄原格致会
 会長 八谷英樹
 監事 遠藤靖夫
 監事 塚原通彦
 事務局長(会計) 武廣 巖

東京庄原格致会役員名簿(令和元年十月二十日)

顧問 室伏 孝一(昭和三十五年卒) 兼利 卓蔵(昭和二十八年卒) 渡利 治博(昭和三十一年卒) 飛谷 安宣(昭和三十三年卒) 生田八洲 紘(昭和三十三年卒) 合田 良三(昭和三十三年卒) 森沢 進(昭和三十四年卒) 迫田 芳徳(昭和三十四年卒) 田湖 統洋(昭和三十五年卒) 積山 弘佳(昭和三十五年卒) 光島 勝馬(昭和三十五年卒) 吉岡 公義(昭和三十五年卒) 会長 八谷 英樹(昭和三十五年卒) 副会長 渡邊 千草(昭和三十八年卒) 花田 和教(昭和四〇年卒) 幹事長 助政 千尋(昭和四〇年卒)	副幹事長 石井美佐子(昭和四八年卒) 事務局長 武廣 巖(昭和四八年卒) 副事務局長 奥重 秀彦(昭和四七年卒) 西川 進(昭和四八年卒) 幹事 大岩 征子(昭和三十七年卒) 小池 正之(昭和三十八年卒) 中田 毅(昭和三十九年卒) 田中 文男(昭和四〇年卒) 若山 博文(昭和四一年卒) 新宅 二三(昭和四二年卒) 吉田 玲児(昭和四四年卒) 田原 英樹(昭和四七年卒) 畑原 裕文(昭和四八年卒) 矢吹 文伸(昭和四八年卒) 監事 遠藤 靖夫(昭和三十七年卒) 塚原 通彦(昭和三十八年卒)
--	---

令和3年度事業計画(令和3年7月1日~令和4年6月30日)

令和3年

7月25日(日) 全体会議

9月 主婦会館プラザエフ(中止)

10月24日(日) 会報第29号を会員に発送

10月 令和3年度 総会・懇親会

10月 主婦会館プラザエフ(中止)

11月 合同ゴルフコンペ(開催検討中)

11月 庄原格致高等学校同窓会(懇親会)(中止)

11月 世羅高校東京校友会同窓会 出席

令和4年

2月 幹事会(主婦会館プラザエフ)

4月 合同ゴルフコンペ(開催検討中)

5月 庄原実業高校東京支部同窓会 出席

同好会の活動

・例年9月初旬に行っている日帰り旅行は中止
・合同ゴルフコンペ(東京庄原格致会・東京西城会・東京馬洗会)は検討中
・囲碁クラブは新型コロナウイルスの感染状況を勘案して開催(定例会は毎月、原則第二日曜日(新宿開暮サロン「喜楽」)・会報の作成(会報(記念号)(第30号) 令和4年9月発行)作成のためのP.Tを編成

編集後記

今号は、懇親会の中止のお知らせから始まる会報となり、残念です。
 新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中ですが、オリンピック・パラリンピック選手の言動からは、これまでの挫折や努力、周囲の方々の支えが感じられ、心を打つものがあります。
 今号も皆さまにご協力をいただき、発行できることになりました。

母校の青本眞二校長先生(2年目)から、医療・教職コース第一期生が今年度で卒業すること、母校同窓会会長の藤光有様から、庄原市政や「かんぼの郷庄原」の情報に関するご寄稿いただきました。
 会員からは、今年12月に90歳になられる昭和25年卒の室伏孝一様から第28号に続いて回想を、昭和40年卒の田辺実様からは、ご自身の闘病生活と健康の大切さを、同40年卒の桑原草子様からは、通学に使った西城川周辺の様子を、平成5年卒の熊田和佳様からは、吹奏楽部の娘さんを追っかけて甲子園球場へ夫婦で通ったことをご寄稿いただきました。

今年4月に着任された橋本敦盛教頭先生からは、医療・教職コースやクラブ活動の状況をお知らせいただきました。
 元会員で今は庄原市在住の藤原剛様から、庄原駅改修とその周囲の区画整理事業について記事をいただきました。
 ご執筆いただきました皆様ありがとうございました。
 (事務局)

年会費の納入のお願い!

「年会費」は、東京庄原格致会の会報発行等の運営費を賄うための最も重要な財源です。
 御一人二千元をお願いしております。
 お送りいたします振替用紙で入金いただきますよう、よろしくお願ひします。
 ご寄付につきましても同用紙でお願いいたします。

「寄付をありがとうございます。」
 この一年間に次の方々からご寄付をいただきました。心よりお礼を申し上げます。

基金会計

- 三浦重造様 (26年卒)
- 兼利卓蔵様 (28年卒)
- 恵木弘様 (30年卒)
- 鞍掛多恵子様 (33年卒)
- 八谷英樹様 (35年卒)
- 大岩征子様 (37年卒)
- 岡崎千鶴子様 (38年卒)
- 川野正江様 (38年卒)
- 渡邊千草様 (38年卒)
- 中田毅様 (39年卒)
- 瀬尾明雄様 (40年卒)
- 田中文男様 (40年卒)
- 田辺実様 (40年卒)
- 新宅二三様 (42年卒)
- 高岡利見様 (43年卒)
- 本間ますみ様 (49年卒)

一般会計

- 室伏孝一様 (25年卒)
- 藤永哲治様 (26年卒)
- 藤原チエミ様 (34年卒)
- 光島勝馬様 (35年卒)
- 加藤勝様 (37年卒)
- 平川智子様 (38年卒)
- 三宅倭夫様 (39年卒)
- 平田タツ子様 (40年卒)
- 井上由夫様 (41年卒)
- 守長和子様 (41年卒)
- 佐々木和之様 (43年卒)
- 藤原剛様 (43年卒)
- 福場泰蔵様 (45年卒)
- 福場美知留様 (45年卒)